



平成31年度から、小・中学校9年間を見通した 生駒市英語教育カリキュラムがスタートします！

生駒市では、21世紀を生き抜く力を持つ子どもを育成する取組の一つとして、平成32年（2020年）に小学校、平成33年（2021年）に中学校で全面実施される新学習指導要領を先行して小学校1年生から外国語活動に取り組み、グローバル時代に対応した英語教育を推進しています。

平成30年度からは、小学校1・2年生では県下初となる生駒市独自の教材「Ready... Go!」を活用しています。小学校ではALTとわくわくイングリッシュサポーター、中学校ではALTの協力により、英語の楽しさを感じ、異文化に出合ったり親しんだりする活動等を通して国際感覚を育成しています。

この小・中学校9年間を通した英語教育をさらに推進していくために、「生駒市英語教育カリキュラム」を生駒市英語教育推進委員会で作成しました。「中学校卒業時の目指す子どもの姿」の実現を図り、小学校から中学校まで一貫した学びを確かなものにするをねらいとし、さらなる教育の充実を図っていきます。

■ 「生駒市英語教育カリキュラム」の構成

- ・ 平成32年度（2020年度）からの新学習指導要領全面実施に向けた英語教育推進実施計画
- ・ 生駒市の英語教育の全体像
- ・ 小学校・中学校の9年間を通した生駒市英語教育のCAN-DOリスト
- ・ 資料 小学校全学年の年間指導計画
指導の留意点や教材・教具・資料の紹介
授業で使えるアクティビティの紹介

■ 生駒市の英語教育の全体像 （別紙1）

【中学校卒業時の目指す子どもの姿】

1. 自分の夢や学び育った生駒について、英語で伝えることができる。
2. 日常生活の身近な事柄について、英語で伝え合うことができる。
3. 意欲的に国際交流に関わり、自ら進んで英語でコミュニケーションを図ることができる。

中学校卒業時の目指す子どもの姿を設定し、そこからさかのぼって、発達段階に応じた目標を設定しました。小学校では体験的な活動や言語活動を通して外国語に慣れ親しむ取組を行い、中学校では小学校で学んだ学習内容をスムーズに引き継ぎながらさらに発展させていきます。

■ 生駒市英語教育のCAN-DOリスト （別紙2）

英語理解として「聞くこと」、「話すこと」、英語表現として「話すこと（やりとり）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の、5つの領域の能力を育成するために、各領域の到達目標を「○○できる」という形で明確化しました。子どもたちや指導者は、各学年の「できる姿」の達成を目指して学習していきます。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市教育委員会 教育指導課（課長補佐 滝澤） ☎0743-74-1111(内線 632)